

令和2年度 学校経営計画・学校評価シート

<p>【高知県の教育の教育理念】</p> <p>(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち</p> <p>(2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材</p>	<p>学校像</p> <p>○児童生徒が自己実現を達成できる学校</p> <p>○保護者が成長と発達を実感できる教育を行う学校</p> <p>○地域になくてはならない存在だと愛される学校</p> <p>○教職員が仕事に誇りを持ち、やりがいを感じる学校</p>	<p>目指すべき姿</p> <p>○児童生徒が自己実現を達成できる学校</p> <p>○保護者が成長と発達を実感できる教育を行う学校</p> <p>○地域になくてはならない存在だと愛される学校</p> <p>○教職員が仕事に誇りを持ち、やりがいを感じる学校</p>	<p>目標に向けたべき姿の概要</p> <p>○児童生徒が自己実現を達成できる学校</p> <p>○保護者が成長と発達を実感できる教育を行う学校</p> <p>○地域になくてはならない存在だと愛される学校</p> <p>○教職員が仕事に誇りを持ち、やりがいを感じる学校</p>

- (1) 学校教育目標、教育課程、日々の授業のつながりを意識したカリキュラムマネジメントサイクルの確立による児童生徒一人一人の実態に応じた教育課程の編成
- (2) 卒業後の自立と社会参加を見据えた教育の充実と豊かな心の育成
- (3) 教員の専門性の向上と指導力の育成
- (4) 児童生徒の命と人権を守る安心安全な学校づくりの推進
- (5) 特別支援教育のセンターとしての支援機能や情報発信、保護者・関係機関等との連携による開かれた学校づくりの推進
- (6) 学校教育目標の達成をめざし、やりがい、動きがよいある学校組織の運営と働き方改革の促進

《重点取組項目》 (評価 A:目標を十分に達成 B:ほぼ目標を達成 C:やや不十分 D:改善を要する)

項目	取組ねらい【P】	現状と目標【評価指標】	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	学校関係者評価	見直しのポイント【A】	
<p>専門性の向上</p> <p>教育課程の改善</p>	<p>主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善とその評価を教育課程の改善につなげ、よりよい教育課程を編成する。【R2~4】</p> <p>①個別の指導計画の新様式を活用した指導と評価のPDCAサイクルを確立する。</p> <p>②児童生徒の実態に応じた年間指導計画や単元計画表の作成を進め、教育課程の振り返りにつなげる。</p> <p>③授業づくりのPDCAサイクルを徹底し、主対深の視点での授業改善を一層推進する。</p>	<p>【現状・課題】</p> <p>各類型の教科の指導内容等が担任・担当のみで、系統性や充実が図れていない。</p> <p>・学習指導要領の活用が不十分で主・対・深の趣旨の理解が不十分。</p> <p>・授業改善が教育課程改善と結びついていない。</p> <p>・個別の指導計画は引継ぎとして活用が不十分。</p> <p>・個別の教育支援計画及び個別の指導計画の新様式の書き方、活用の仕方等の周知徹底・分掌の仕事と教育課程のつながりについての理解が不十分。</p> <p>【目標】</p> <p>①学習評価を適切に行い、個別の指導計画の評価・改善を教育課程の改善につなげる。</p> <p>②教科の授業づくりの検証を行い、系統性のある指導計画を作成するため、教科ごとの授業検証を行い、「目標内容詳細表」を作成する(～R3年)。</p> <p>③分掌部が担当している業務(行事や防災教育等)の教育課程上の位置づけを明確にする。</p> <p>④本校、分校およびカリネ委員を実施し、教育課程実施上の課題を共有し、改善のための検討を行う。</p> <p>⑤全教員の公開授業の実施と改善のための研究協議の場を確実に実施する。</p>	<p>①②③月1回の全校または類型別研究の指導計画の実施、運用開始</p> <p>②③全教員の公開授業の実施と教科等担当グループでの授業研究(2サイクル)の確実な実施</p> <p>④準ずる教育課程の学習支援と社会性を育む指導等についての協議実践(研究、進捗、教務)</p> <p>⑤新様式により個別の指導計画を作成し、運用する。</p> <p>⑥教育課程研究集会で学習評価をテーマに研修し、個別の指導計画の評価を行う。</p> <p>⑦教育課程振り返りシートを活用し、次年度の教育課程の改善につなげる。</p> <p>⑧単元計画表の統一様式を作成、試行し、年間計画の改善につなげる。</p> <p>⑨授業実践後まとめシートを全員が作成し、今後の実践に役立てる。</p>	<p>①全児童生徒について、新様式で個別の指導計画を作成し、年度末までに作成運用サイクルを明らかにする(教務部)</p> <p>■Ⅲ類型のマニュアルの整理を行い、独立したものを年度末までに作成する。(教務部)</p> <p>■教育課程振り返りシートを作成し、カリネ委員会を経て実施し来年度の教育課程編成に生かす。(教務部)</p> <p>■類型別研究の担当で進捗状況の中間確認と報告会(2/4)を実施する。研究内容を個別の指導計画の目標設定や評価、教育課程の改善につなげていく。(研究部)</p> <p>■単元・評価計画シートの試用を経て、シートの改善を図るとともに、活用することで3観点の目標設定と評価に慣れ、3観点の子どもの目標設定、指導内容事例を集める。(4校)</p> <p>■公開授業の研究協議の方法を統一して、全教員が協議を実施する。(研究部)</p> <p>■公開授業シートを研究部が作成、提案している。</p> <p>■授業改善シートⅢ類型版試案を作成、Ⅲ類型公開授業で試行する。</p>	<p>①全児童生徒について、新様式で個別の指導計画を作成し、年度末までに作成運用サイクルを明らかにする(教務部)</p> <p>■Ⅲ類型のマニュアルの整理を行い、独立したものを年度末までに作成する。(教務部)</p> <p>■教育課程振り返りシートを作成し、カリネ委員会を経て実施し来年度の教育課程編成に生かす。(教務部)</p> <p>■類型別研究の担当で進捗状況の中間確認と報告会(2/4)を実施する。研究内容を個別の指導計画の目標設定や評価、教育課程の改善につなげていく。(研究部)</p> <p>■単元・評価計画シートの試用を経て、シートの改善を図るとともに、活用することで3観点の目標設定と評価に慣れ、3観点の子どもの目標設定、指導内容事例を集める。(4校)</p> <p>■公開授業の研究協議の方法を統一して、全教員が協議を実施する。(研究部)</p> <p>■公開授業シートを研究部が作成、提案している。</p> <p>■授業改善シートⅢ類型版試案を作成、Ⅲ類型公開授業で試行する。</p>	<p>①全児童生徒について、新様式で個別の指導計画を作成し、年度末までに作成運用サイクルを明らかにする(教務部)</p> <p>■Ⅲ類型のマニュアルの整理を行い、独立したものを年度末までに作成する。(教務部)</p> <p>■教育課程振り返りシートを作成し、カリネ委員会を経て実施し来年度の教育課程編成に生かす。(教務部)</p> <p>■類型別研究の担当で進捗状況の中間確認と報告会(2/4)を実施する。研究内容を個別の指導計画の目標設定や評価、教育課程の改善につなげていく。(研究部)</p> <p>■単元・評価計画シートの試用を経て、シートの改善を図るとともに、活用することで3観点の目標設定と評価に慣れ、3観点の子どもの目標設定、指導内容事例を集める。(4校)</p> <p>■公開授業の研究協議の方法を統一して、全教員が協議を実施する。(研究部)</p> <p>■公開授業シートを研究部が作成、提案している。</p> <p>■授業改善シートⅢ類型版試案を作成、Ⅲ類型公開授業で試行する。</p>	<p>①全児童生徒について、新様式で個別の指導計画を作成し、年度末までに作成運用サイクルを明らかにする(教務部)</p> <p>■Ⅲ類型のマニュアルの整理を行い、独立したものを年度末までに作成する。(教務部)</p> <p>■教育課程振り返りシートを作成し、カリネ委員会を経て実施し来年度の教育課程編成に生かす。(教務部)</p> <p>■類型別研究の担当で進捗状況の中間確認と報告会(2/4)を実施する。研究内容を個別の指導計画の目標設定や評価、教育課程の改善につなげていく。(研究部)</p> <p>■単元・評価計画シートの試用を経て、シートの改善を図るとともに、活用することで3観点の目標設定と評価に慣れ、3観点の子どもの目標設定、指導内容事例を集める。(4校)</p> <p>■公開授業の研究協議の方法を統一して、全教員が協議を実施する。(研究部)</p> <p>■公開授業シートを研究部が作成、提案している。</p> <p>■授業改善シートⅢ類型版試案を作成、Ⅲ類型公開授業で試行する。</p>	<p>①個別の指導計画及び学習評価の充実(実態把握、3つの柱での目標設定、3観点での評価)</p> <p>②個別の指導計画をもつ児童生徒の実態に応じた年間指導計画や単元計画表の作成と系統的な指導支援のためのツール(目標内容詳細表)の作成。</p> <p>③授業づくりのPDCAサイクルを徹底し、主対深の視点での授業改善を進める。</p> <p>④卒業後を見据えたキャリア教育の充実</p>	
<p>専門性の向上</p> <p>自立活動の指導の充実</p>	<p>教科学習を後ろ支えする自立活動の指導内容の充実を図る。【R2~3】</p> <p>①自立活動の指導内容を明らかにし、より実態に即した指導、支援を行う。</p> <p>②自立活動と教科の指導内容について必要な整理を行う。</p> <p>③療育福祉センターとの連携を図り、指導内容の充実を図る。</p>	<p>【現状・課題】</p> <p>・教員の不自由な児童生徒に対する自立活動の指導に対する意識が弱い。</p> <p>・指導内容が担任の力量(教職員の経験や専門性)で変わる。</p> <p>・自立活動の指導内容と教科の指導内容が曖昧・流れ図の作成が難しい。</p> <p>【目標】</p> <p>①夏季休業中に流れ図を全児童生徒に作成し、個別の指導計画に反映する。</p> <p>②流れ図作成や見直しのPDCAサイクルを個別の指導計画の作成・活用とリンクさせる。</p> <p>③教科等の指導案に、自立活動の指導目標や内容との関連を記載できる様式を作成し、活用する。</p> <p>④療育福祉センターのリハビリ担当者からのアドバイスを自立活動の指導に生かす。</p>	<p>①自立活動の基本的な捉え、流れ図の作成に関する研修会の実施(1学期中)</p> <p>※本校の研修に参加するためテレビ会議(zoom)の活用</p> <p>②肢体不自由な児童生徒の障害者等の基本的な理解を深めるとともに、療育福祉センターの医師やPTによる研修の実施</p> <p>【目標】</p> <p>①夏季休業中に流れ図を全児童生徒に作成し、個別の指導計画に反映する。</p> <p>②流れ図作成や見直しのPDCAサイクルを個別の指導計画の作成・活用とリンクさせる。</p> <p>③教科等の指導案に、自立活動の指導目標や内容との関連を記載できる様式を作成し、活用する。</p> <p>④療育福祉センターのリハビリ担当者からのアドバイスを自立活動の指導に生かす。</p>	<p>①自立活動の基本的な捉え、流れ図の作成に関する研修会の実施(1学期中)</p> <p>※本校の研修に参加するためテレビ会議(zoom)の活用</p> <p>②肢体不自由な児童生徒の障害者等の基本的な理解を深めるとともに、療育福祉センターの医師やPTによる研修の実施</p> <p>【目標】</p> <p>①夏季休業中に流れ図を全児童生徒に作成し、個別の指導計画に反映する。</p> <p>②流れ図作成や見直しのPDCAサイクルを個別の指導計画の作成・活用とリンクさせる。</p> <p>③教科等の指導案に、自立活動の指導目標や内容との関連を記載できる様式を作成し、活用する。</p> <p>④療育福祉センターのリハビリ担当者からのアドバイスを自立活動の指導に生かす。</p>	<p>①自立活動の基本的な捉え、流れ図の作成に関する研修会の実施(1学期中)</p> <p>※本校の研修に参加するためテレビ会議(zoom)の活用</p> <p>②肢体不自由な児童生徒の障害者等の基本的な理解を深めるとともに、療育福祉センターの医師やPTによる研修の実施</p> <p>【目標】</p> <p>①夏季休業中に流れ図を全児童生徒に作成し、個別の指導計画に反映する。</p> <p>②流れ図作成や見直しのPDCAサイクルを個別の指導計画の作成・活用とリンクさせる。</p> <p>③教科等の指導案に、自立活動の指導目標や内容との関連を記載できる様式を作成し、活用する。</p> <p>④療育福祉センターのリハビリ担当者からのアドバイスを自立活動の指導に生かす。</p>	<p>①1学期に全1回の自立活動流れ図研修を実施し、全児童生徒の指導目標と指導内容を設定する流れを整理することになった。</p> <p>②リハビリ、病棟と学校との担当者や日々の情報交換や共有、協議を通じて、児童生徒への指導・支援につなげることができた。</p> <p>■自立活動の指導と指導場面についての理解が不十分で、指導案の中に授業内容での自立活動への配慮事項等の記入はできていない。</p> <p>■自立活動の指導等の流れのスクリーン化と、設定の流れの見直し、確実な実施を進めていく必要がある。</p> <p>(学校評価アンケート)・自立活動の指導指導目標・内容を明らかにする。教科の中で配慮した指導支援⇒マイナス評価・評価できない20以上</p>	<p>①1学期に全1回の自立活動流れ図研修を実施し、全児童生徒の指導目標と指導内容を設定する流れを整理することになった。</p> <p>②リハビリ、病棟と学校との担当者や日々の情報交換や共有、協議を通じて、児童生徒への指導・支援につなげることができた。</p> <p>■自立活動の指導と指導場面についての理解が不十分で、指導案の中に授業内容での自立活動への配慮事項等の記入はできていない。</p> <p>■自立活動の指導等の流れのスクリーン化と、設定の流れの見直し、確実な実施を進めていく必要がある。</p> <p>(学校評価アンケート)・自立活動の指導指導目標・内容を明らかにする。教科の中で配慮した指導支援⇒マイナス評価・評価できない20以上</p>	<p>①1学期に全1回の自立活動流れ図研修を実施し、全児童生徒の指導目標と指導内容を設定する流れを整理することになった。</p> <p>②リハビリ、病棟と学校との担当者や日々の情報交換や共有、協議を通じて、児童生徒への指導・支援につなげることができた。</p> <p>■自立活動の指導と指導場面についての理解が不十分で、指導案の中に授業内容での自立活動への配慮事項等の記入はできていない。</p> <p>■自立活動の指導等の流れのスクリーン化と、設定の流れの見直し、確実な実施を進めていく必要がある。</p> <p>(学校評価アンケート)・自立活動の指導指導目標・内容を明らかにする。教科の中で配慮した指導支援⇒マイナス評価・評価できない20以上</p>	<p>・授業時間との関係で取組の時間が限られていると聞くので、その中で工夫して自立活動に取り組んでいくことはセラピストとしてはとてもありがたく、継続してほしい。</p> <p>■自立活動の目標を決めるときには、保護者の意見や願いも共有して、一緒に立てていくことが大切である。(関係者)</p> <p>①一人一人の児童生徒の「流れ図」作成と見直し</p> <p>②自立活動の指導と教科の指導の関連を理解し、適切な指導場面を設定する。</p> <p>③療育福祉センターとの連携を図り、指導内容の充実を図る。</p>
<p>文化・芸術・スポーツの振興</p> <p>学校設定項目</p>	<p>学校卒業後の生涯学習につなげる意欲を持った文化・芸術、スポーツ活動の振興を図る。</p> <p>①卒業後の豊かな生活を目標とし、在学中から、卒業後につながる活動を見つけたともに社会参加の機会の充実を図る。</p> <p>②文化・芸術、スポーツ活動に関して授業等において計画的に取り組むとともに、児童生徒の意欲や主体性を向上させるため、校内での情報共有を行い、機運づくりを行う。</p>	<p>【現状・課題】</p> <p>・教職員の社会参加につながるよう意識感が弱い。</p> <p>・スポーツ大会等への参加が難しい子どもの参加の仕方。</p> <p>・同じ児童生徒の参加となっている。</p> <p>・校内での障害者スポーツが社会参加につながるよう気運づくり不十分。(担当者がはつきりしていない)</p> <p>【目標】</p> <p>①校内外への発信、社会参加の機会を増やす。</p> <p>&lt;文化・芸術活動&gt;</p> <p>・2020線文祭への参加</p> <p>・校内外の作品展やコンクール等への全児童生徒の参加</p> <p>・芸術鑑賞会等の実施により生の芸術に触れる機会を持つ。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;</p> <p>・校外で実施されるスポーツ大会への参加者を増やす。</p> <p>・本校や他の分校との体育授業等を通じたスポーツ交流の実施</p> <p>②校内における機運をさらに高める。</p> <p>・校内表彰、校内展、読書活動などを行い、文芸系いつも触れることできる環境を作る</p> <p>・保護者等への啓発を行う。</p>	<p>①文化芸術活動&gt;WeBSOBUNI、学校紹介パネル、合同作品展、作品展展、学校紹介VTRで参加した。</p> <p>②合同作品展部門では、中高生が焼き物の陶像展示。</p> <p>○学校紹介VTRは、全校児童生徒の映像、写真、しほり声での参加でVTRを作成。高専生による企画、制作にかかわる機会となった。</p> <p>■若草合同展覧会への作品出品を呼びかけ中。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;障害者スポーツ大会フライングディスク大会への参加の呼びかけを行い、4名が参加予定。</p> <p>■若草スポーツ交流会を企画中。</p> <p>②校内外の作品展やコンクールの案内をPC共有の専用フォルダに掲載。教員がいつでも見られるようにしている。</p> <p>■1学期は作品展はない。</p>	<p>①文化芸術活動&gt;WeBSOBUNI、学校紹介パネル、合同作品展、作品展展、学校紹介VTRで参加した。</p> <p>②合同作品展部門では、中高生が焼き物の陶像展示。</p> <p>○学校紹介VTRは、全校児童生徒の映像、写真、しほり声での参加でVTRを作成。高専生による企画、制作にかかわる機会となった。</p> <p>■若草合同展覧会への作品出品を呼びかけ中。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;障害者スポーツ大会フライングディスク大会への参加の呼びかけを行い、4名が参加予定。</p> <p>■若草スポーツ交流会を企画中。</p> <p>②校内外の作品展やコンクールの案内をPC共有の専用フォルダに掲載。教員がいつでも見られるようにしている。</p> <p>■1学期は作品展はない。</p>	<p>①文化芸術活動&gt;WeBSOBUNI、学校紹介パネル、合同作品展、作品展展、学校紹介VTRで参加した。</p> <p>②合同作品展部門では、中高生が焼き物の陶像展示。</p> <p>○学校紹介VTRは、全校児童生徒の映像、写真、しほり声での参加でVTRを作成。高専生による企画、制作にかかわる機会となった。</p> <p>■若草合同展覧会への作品出品を呼びかけ中。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;障害者スポーツ大会フライングディスク大会への参加の呼びかけを行い、4名が参加予定。</p> <p>■若草スポーツ交流会を企画中。</p> <p>②校内外の作品展やコンクールの案内をPC共有の専用フォルダに掲載。教員がいつでも見られるようにしている。</p> <p>■1学期は作品展はない。</p>	<p>①文化芸術活動&gt;WeBSOBUNI、学校紹介パネル、合同作品展、作品展展、学校紹介VTRで参加した。</p> <p>②合同作品展部門では、中高生が焼き物の陶像展示。</p> <p>○学校紹介VTRは、全校児童生徒の映像、写真、しほり声での参加でVTRを作成。高専生による企画、制作にかかわる機会となった。</p> <p>■若草合同展覧会への作品出品を呼びかけ中。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;障害者スポーツ大会フライングディスク大会への参加の呼びかけを行い、4名が参加予定。</p> <p>■若草スポーツ交流会を企画中。</p> <p>②校内外の作品展やコンクールの案内をPC共有の専用フォルダに掲載。教員がいつでも見られるようにしている。</p> <p>■1学期は作品展はない。</p>	<p>①文化芸術活動&gt;WeBSOBUNI、学校紹介パネル、合同作品展、作品展展、学校紹介VTRで参加した。</p> <p>②合同作品展部門では、中高生が焼き物の陶像展示。</p> <p>○学校紹介VTRは、全校児童生徒の映像、写真、しほり声での参加でVTRを作成。高専生による企画、制作にかかわる機会となった。</p> <p>■若草合同展覧会への作品出品を呼びかけ中。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;障害者スポーツ大会フライングディスク大会への参加の呼びかけを行い、4名が参加予定。</p> <p>■若草スポーツ交流会を企画中。</p> <p>②校内外の作品展やコンクールの案内をPC共有の専用フォルダに掲載。教員がいつでも見られるようにしている。</p> <p>■1学期は作品展はない。</p>	<p>①文化芸術活動&gt;WeBSOBUNI、学校紹介パネル、合同作品展、作品展展、学校紹介VTRで参加した。</p> <p>②合同作品展部門では、中高生が焼き物の陶像展示。</p> <p>○学校紹介VTRは、全校児童生徒の映像、写真、しほり声での参加でVTRを作成。高専生による企画、制作にかかわる機会となった。</p> <p>■若草合同展覧会への作品出品を呼びかけ中。</p> <p>&lt;スポーツ活動&gt;障害者スポーツ大会フライングディスク大会への参加の呼びかけを行い、4名が参加予定。</p> <p>■若草スポーツ交流会を企画中。</p> <p>②校内外の作品展やコンクールの案内をPC共有の専用フォルダに掲載。教員がいつでも見られるようにしている。</p> <p>■1学期は作品展はない。</p>	

働き方改革	<p>子どもに向き合う時間、自分自身を高める時間の確保と、一人一人の力が生かせる職場づくりを行う。</p> <p>①効果的、効率的で計画的な業務により、見直しをもった仕事の仕方につなげるなど教職員の働き方に関する意識改革を行う。</p> <p>②本校・分校で共同・協働してできる業務を検討し、各校の教育活動の交流による質の向上を図るとともに、業務の効率化を図る。</p>	<p>【現状・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌の長などに業務が偏る。</li> <li>・学部、類型、クラス等の担当する部署によって、負担感に差がある。</li> <li>・会議を整理し、会議の実施時間も短くする等の対応を行ったが、教材研究の時間の確保が必要。</li> <li>・行事の見直しを行った。</li> <li>・転出入が多いため、その分の業務が多い。</li> </ul> <p>【目標】</p> <p>①効果的、効率的な業務のための組織体制や業務分担の見直し</p> <p>①部長、クラス長の役割を明かにし、分掌部や学級の経営力を高める。</p> <p>①人材育成・専門性の向上により、学び合う風土を作る。</p> <p>①働きやすく安心・安全な職場環境を実現する。</p> <p>②本校・分校で共同・協働した教育活動や事務的な処理を検討する。</p>	<p>①持ち時間数軽減、休憩時間確保のための工夫(学習支援員の活用等)</p> <p>①分掌業務の整理と、部長による進捗管理のための様式を活用し確実に運用する。</p> <p>①主事と管理職とのミーティングの実施(主事会)と、クラス長会の実施</p> <p>①メリハリをつけた研修会・会議等の設定(短時間またはしつかり時間を取るなど計画的に)</p> <p>①職員室の整理整頓と維持(机のフラット化)</p> <p>①年に1回はワークショップを行い、業務の改善を図る。</p> <p>①19時に学校を施錠する。</p> <p>①月1回18:10に一斉退庁をする。</p> <p>②TV会議や遠隔授業の活用。</p> <p>②4校で共通した会議日程の設定。</p>	<p>①授業における支援の見直し、学習支援員の活用等により、中・高等部持ち時間平均21時間、小学部24時間とし、教材研究時間の確保に努めている。</p> <p>■中・高等部は教材研究の時間が確保できているが、小学部は、空き時間をとれていないクラスがある。</p> <p>■各分掌部の進捗管理表の活用状況。1学期末の活用分掌部は教務部のみ。</p> <p>○主事会は、1学期に8回実施。クラス長会は、小学部は主事が中心となり月1回程度実施している。</p> <p>○職員室に分掌部用のロッカーを設置、併せて机上の整理を1回行った。</p> <p>○1学期末に「変える、減らす、やめる」の視点からのアンケートを実施。できることから改善に取り組んでいる。</p> <p>○昨年度4月～7月期の時間外勤務45時間以上延べ42名が、令和2年度4～7月期4名へと減少。19時までの退勤は、周知されつつある。</p>	<p>・2学期初めに児童生徒への支援体制や支援員の活用等について見直しを行い、教材研究の時間を確保する。(小学部)</p> <p>・2学期中に、職員室の机上の整理を行う。</p> <p>・分掌部の進捗管理表への記入を再度確認し、進捗管理と次年度への業務引継ぎにつなげる。</p> <p>・2学期末に、働き方改革に関するワークショップを実施して意見を聴取し、業務改善できるところから取り組む。</p> <p>・2学期に、4回の18時10分一斉退勤日を計画的に実施する。(毎月月末日に実施予定)。</p> <p>・会議の時間厳守、時間短縮の取組を継続していく。</p>	<p>①授業における支援体制の見直しや学習支援員を増員、活用により、中・高等部授業持ち時間平均21時間、小学部24時間とし、時間割内の教材研究の時間を確保した。</p> <p>①時間外勤務45時間以上、8～1月期0へと減少。19時までの退勤は、周知されてきた。</p> <p>①主事会、クラス長会(小学部)の実施により、主事、クラス長の役割が理解されつつある。</p> <p>①分掌業務進捗管理表の作成100%。書きやすく活用できるような様式の改善を進め、業務引継ぎのツールとしていく。</p> <p>②本校分校で、各種様式、取組等について協働、共有したことで、様式の整備、小・中・新学習指導要領全面実施に向けた取組を確実に進めることができた。</p> <p>■引き続き効率的、効果的な業務のための組織体制や業務分担の見直しを進める。</p> <p>■会議の精選や効率的な会議の方法について周知を図り、徹底していく必要がある。</p> <p>■授業等への支援体制の検討と見直し、効率的な業務に向けての意識改革を進める。</p> <p>■「減らす・変える・やめる」の視点での業務の見直しを継続していく。</p> <p>(学校評価アンケート)</p> <p>昨年度に比べて教材研究の時間が増えましたか：    ・ マイナス評価50%    ・ 打ち合わせ会議が多い、17時以降の会も多い 持ち帰り仕事が多い</p>	<p>・子どものことを思えば思うほど、時間はいくらでも取りたいことはわかる。また、職場の中でも、若い世代のほうが働き方改革については、うまくやっている面があるのかもしれない。しかし、その中で、伝えるべき所を、どう確実に伝えていくかというところは難しい面があり、組織を超えて同じような課題があり、検討していく必要がある。(関係者)</p> <p>・学校アンケート等のマイナス評価の中身を検討する必要がある。児童生徒の実態に応じて教材研究が必要な学校であり、必要、不必要を結び分けて時間をどのように使うか、計画的にどう役割分担するかなど教員の意識を高めることも必要。</p>	<p>子どもに向き合う時間、自分自身を高める時間の確保と、一人一人の力が生かせる職場づくりを行う。</p> <p>①効果的、効率的で計画的な業務により、見直しを持った仕事の仕方につなげるなど教職員の働き方に関する意識改革を行う。</p> <p>②本校・分校で共同・協働してできる業務を検討し、各校の教育活動の交流による質の向上を図るとともに、業務の効率化を図る。</p>